

神戸市立名谷図書館の整備状況について

神戸市立名谷図書館は市営地下鉄名谷駅前、大丸須磨店4階にて、令和2年度末の開館を予定しています。駅前という交通至便の地、また日々の暮らしの中において、多世代の方々に気軽に立ち寄りいただける地域図書館を目指しています。現時点での整備進捗をご報告するとともに、イメージパースを公開いたします。また、開館日、開館時間については、皆様方の声をお聞きし使い勝手の良い図書館となるよう意見具申してまいります。

名谷図書館の概要

- 面積:約1,300㎡
- 蔵書数:約7万冊、うち児童書約2万冊
(開館時は約5万冊、うち児童書約1万5千冊)
- 開館予定日:令和3年3月末

整備の進捗

大丸須磨店内を回遊する中で、自然と図書館へ誘われるような、フロア内に一体感のある空間づくりを目指す。館内インテリアには木材を多用するとともに、他テナントに面した壁面はガラス張りとし、開放感を醸し出すよう内装工事の設計協議中。

整備予定のスペース

本年2月下旬、3月にアンケートを実施。その結果を踏まえ、下記のスペースを設ける予定。(同アンケート結果は後日公表)

親子(幼児・児童)のためのスペース

児童図書コーナーに靴を脱いで座って過ごせる場所や、読み聞かせのイベントなどを行うおはなしの部屋を設けるほか、図書館の外側には飲食しながら自由に過ごせるエリア(キッズコーナー)を用意。



— エスカレーター横のキッズコーナー(図書館休館日も開放予定) —

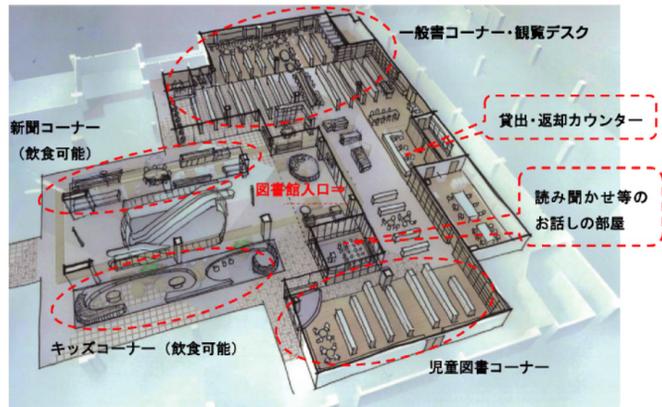
読書や学習のためのスペース

個人で静かに過ごせるブース席、少人数でのグループ学習席、公衆無線LANが使用できる席などを約90席、その他ひとり掛けのソファ、ゆるやかに集える大きなテーブルなど、様々な年代の用途に合う座席を約60席用意。
※一部の座席には予約システムを導入予定

ゆったり過ごせる新聞コーナー

飲食可能でゆっくり過ごせる新聞の専用コーナーを設置。

イメージパース



— エントランスと雑誌コーナー —



— 一般書コーナー(木質系の本棚や机・座席を使用) —

神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市議員 **大井としひろ**
 メールアドレス ooi@kobe-001.com 公式ホームページ http://kobe-001.com
 おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi
 ツイッター KOBE_SUMA_OOI
 自宅兼事務所 須磨区多井畑南町22-15 TEL・FAX 078-743-6155



大井としひろ 検索



安心・安全／公平・公正な街づくりに
 神戸市議員(須磨区) **大井としひろ**
 建設防災委員会委員

編集・発行:こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161

令和2年第一回定例市会6月議会開催 期間(6月11日～6月26日)

須磨区民の皆様いつもお世話になります。

早いもので、5期目の議員活動も6月11日で丸一年が経ちました。今年は全世界で猛威を振るっています新型コロナウイルス感染症で神戸市も翻弄されています。また、九州を始め日本全国で大雨による甚大な被害が報道され心を痛めています。6月議会では、再度の感染拡大に備え、医療提供体制の確保を進め市民生活・経済活動を回復させるべく国の二次補正予算も踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策に係る第二弾の補正予算が編成され、6月24日の本会議にて全会一致で、予算規模112億3,000万円の補正予算(詳細は、次頁)を承認しました。

7月から始まり2年目の議会では、建設防災委員会、都市計画審議会委員、景観審議会委員として、皆様の声を代弁してまいりますので、皆様のご意見、ご相談をお待ちしています。

今年は、新型コロナウイルス感染症が全世界で蔓延し、神戸市でも291名の方が感染し、12名の方がお亡くなりになりました。(7月6日現在)

亡くなられた方々に心よりお悔やみ申し上げます。療養中の皆様の一日も早いご回復をお祈りしています。そして、最前線で働く医療従事者の皆様、関係者の皆様をはじめ、暮らしを支えてくださっているすべての皆様に心より感謝申し上げます。

第二波の新型コロナウイルス感染症の発生が危惧されています。と同時に暑さによる熱中症にも十分注意してください。気を緩めることなく「三つの密」の回避や「人と人の距離の確保」、「マスクの着用(熱中症に注意しながら)」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を継続して頂き、感染拡大を予防する「新しい生活様式」を実践していただけますようお願いいたします。



7月6日の建設防災委員会にて

新型コロナ対策 神戸市支援総合サイトが開設中

事業者や市民の方々への支援制度が、分かりやすく紹介されています。是非ご利用ください。

神戸市 検索



ネット環境の利用が困難な方は、神戸市総合コールセンターまでお問合せを

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者や市民の方々への支援制度をご紹介します。

重要なお知らせ

- 新型コロナウイルス(COVID-19)について
- 市内での発生状況
- 支援総合サイト(個人・事業者)
- 市民のみならず
- 医療従事者への支援
- COVID-19 English
- 簡体中文 Tiéng Việ́t



特別定額給付金を装った詐欺に注意!
 「振り込め詐欺」
 「個人情報の詐欺」
 にご注意ください

こんな誘いに乗らないで!
 「早くもらえる」
 「代わりに手続きしてあげる」
 「ATMを操作して」

神戸市総合コールセンター

市政、くらし、各種申請手続きでわからないことは神戸市総合コールセンターにお電話ください。

078-333-3330
 年中無休 8:00～21:00



持続化給付金

法人は200万円、個人事業者(フリーランス等も含む)は100万円までを給付。通常2週間程度で、給付通知書の発送・ご登録の口座に入金されます。

コールセンター 0120-115-570

神戸市特別定額給付金
 コールセンター

078-771-7493

〈受付時間〉
 毎日
 9:00～17:30

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策 補正予算(第2弾)の概要

「改正新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づく政府の緊急事態宣言が5月25日に解除されました。なお、新型コロナウイルス感染症は未だ不明な点も多く、治療法やワクチンも確立していないことから、今後も感染拡大のリスクが存在します。

再度の感染拡大に備え、医療提供体制の確保を進めるとともに、感染警戒期において「新しい生活様式」を定着させながら、市民生活・経済活動をできる限り回復させていくことが必要であることから、国の二次補正予算も踏まえて、新型コロナウイルス感染症対策にかかる第2弾の補正予算が編成されました。

一般会計	102億1,600万円
特別会計	10億1,400万円
合計	112億3,000万円

感染拡大への再移行を想定した検査体制の強化及び医療提供体制の安定的確保

- (1) 検査体制の強化**
- 民間・医療機関等によるPCR検査機能の拡充 6億9,200万円(健康局)
 - ・民間企業・医療機関との連携によるPCR検査体制の拡充(検査室開設費補助、検査委託)等
 - ・環境保健研究所におけるPCR検査関連機器及び試薬等の購入等
 - ウォークスルー方式によるPCR検査の導入 1億1,200万円(健康局)
 - ・神戸市医師会との協力によるPCR検査センターの設置
 - 医療・検査現場の課題解決に資する機器の開発・社会実装への支援 5,000万円(企画調整局)
 - ・PCR検体検査の自動化機器や自動搬送システム等の新たな技術の早期社会実装を支援
 - 感染警戒期における戦略的サーベイランス体制の整備 1億800万円(健康局)
 - ・重症化予防及び院内感染防止を目的として、救急外来や手術・分娩等が必要な方に対してPCR検査を実施
 - ・中央市民病院との連携による抗体検査の共同研究の実施
 - ・帰国者・接触者外来等における抗原検査の実施
 - 感染症予防業務手当の新設 4,300万円(行財政局)
 - ・感染リスクのある業務に従事する市職員へ特殊勤務手当を支給(3,000円/日等)
- (2) 医療提供体制の安定的確保**
- 今後の感染拡大に備えた感染症患者の臨時病棟の整備 5億円(健康局)
 - ・中央市民病院に重症患者等の受け入れを行う臨時病棟を整備(病床:36床)
 - 院内感染の防止対策 1億9,200万円(健康局)
 - ・医療機関における院内感染の基本対策や病棟のゾーニングに必要な費用を補助
 - 感染の疑いがある救急患者の受け入れ体制の確保 5,400万円(健康局)
 - ・二次救急輸送病院に対して発熱のある救急患者の入院受け入れにかかる費用を補助
 - 遠隔医療システムの導入 1,200万円(健康局)
 - ・集中治療専門医が市内医療機関の診療をサポートする遠隔医療システムを導入
 - 感染患者の入院医療費の全額公費負担 5億1,500万円(健康局)
 - ・措置入院にかかる入院医療費を公費で負担
 - 医療従事者等のメンタルケア 1,500万円(健康局)
 - ・患者を受け入れる病院の医療従事者に対する電話相談窓口設置や相談会の開催
 - ・医療従事者への応援啓発の実施
- (3) 感染再拡大の防止**
- 医療機関や避難所等における医療物資の確保 3億3,000万円(危機管理室)
 - ・今後の感染症の拡大に備え、サージカルマスク等の医療物資、間仕切り等避難所物資を備蓄
 - 学校園における保健衛生用品の確保 5,700万円(教育委員会)
 - ・学校再開時の感染リスクを避けるため、幼稚園、小・中学校、特支、高、高専におけるマスク等を確保

- 国民健康保険料・介護保険料の減免 10億1,400万円(福祉局)
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した被保険者等を対象に保険料を減免
- 市内大学生等への支援 1億800万円(企画調整局等)
 - ・大学生等に社会課題を解決するために地域活動への参加を促す活動を実施
 - ・妊婦健康診査等に伴う外出時に利用するタクシー利用料を助成(1万円/人)
- 乳幼児健康診査の感染防止対策 4,900万円(子ども家庭局)
 - ・3密防止のための健診回数の拡大及び健診スタッフの体制拡充等
- 認可外保育施設利用者の家庭内保育支援 6,400万円(子ども家庭局)
 - ・家庭保育を行った利用者に対して施設が保育料(上限42千円/月)を減免した場合に減免額の8割を補助
- 臨時休校期間における子育て家庭の負担軽減 5億3,300万円(福祉局等)
 - ・放課後等デイサービス、放課後児童クラブの時間延長にかかる運営費補助及び利用料減免
- 地域団体等が行う子どもの居場所づくり支援 600万円(子ども家庭局)
 - ・子ども食堂等における3密防止のための弁当持ち帰りなど新たな取り組みに対する補助
- 子ども家庭センターの体制強化 2,000万円(子ども家庭局)
 - ・夜間・休日における電話専門相談や来所時の受付体制の強化

- (3) 新しい生活様式への対応**
- 学校園における教育ICT環境の充実 4億4,100万円(教育委員会)
 - ・GIGAスクール構想の加速に対応するため全小中学校等の児童生徒にノートパソコン等を1人1台整備
 - 学校再開に伴う学びの保障と感染症対策 9億6,100万円(教育委員会)
 - ・補充授業の支援や放課後等を活用した補習などきめ細やかな指導を図るため学習指導員を追加配置
 - 【全小中学校(245校)へ学習指導員を29時間(1~2人)追加配置】
 - ・教職員が学習指導に注力できるよう電話応対や文書の配布等の業務補助を行うスクールサポートスタッフの配置を拡充【スクールサポートスタッフ:90校→160校(+70校)】
 - ・学校における感染症対策等
 - 【全小中学校へのスポットカメラ配備(2~3台/校)、消毒液等の保健衛生用品や3密対策に必要な備品の確保等】
 - 特別支援学校における児童生徒への通学支援 3,400万円(教育委員会)
 - ・スクールバスの感染対策のため、児童生徒の登下校時のタクシー等利用費用を負担
 - 3密回避を目的とした通勤手段多様化への支援 1,000万円(建設局)
 - ・ロッカーや着替えスペースなどを兼ね備えたサイクルステーションの調査検討等
 - 高齢者・障害者施設におけるリモート面会推進 600万円(福祉局)
 - ・リモート面会に必要な機器購入費を補助(上限5万円、補助率1/2)
 - マイナンバーカードの普及促進 2億円(企画調整局)
 - ・オンライン申請等を推進するためサテライトオフィスを拡充(1か所→4か所に増設)
 - 庁内電話のモバイル化 1,700万円(企画調整局)
 - ・固定電話を廃止し、在宅勤務等にも対応できるモバイルフォンを配備(本庁1号館)

- (4) 熱中症対策**
- withコロナにおける熱中症対策 7,000万円(健康局等)
 - ・区役所・支所や公共施設にウォーターサーバーを設置(100か所)
 - ・熱中症対策キャンペーンの実施、PR協力店に「PRのぼり」を設置



市民生活の維持・支援と新しい生活様式への対応

- (1) 生活困窮に陥らないためのセーフティネット機能の充実**
- 低所得のひとり親世帯への給付 17億円(子ども家庭局)
 - ・児童扶養手当を受給するひとり親世帯等に対して5万円(第2子以降3万円加算)を給付
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が大幅に減少する世帯に対して追加で5万円を給付
 - 生活困窮者に対する住居確保給付金の給付 3億700万円(福祉局)
 - ・離職等と同等の水準にまで減収した生活困窮者等に対して家賃相当額を給付

経済活動の維持・回復

- (1) 神戸経済の維持・回復**
- チャレンジ支援補助金の拡充 10億円(経済観光局)
 - ・市内中小企業等の新たな取り組みへの挑戦を支援(上限100万円、補助率3/4)
 - ※4月緊急補正の枠拡大
 - オンラインストアへの新規出店支援による販路拡大 5,000万円(経済観光局)
 - ・オンラインストアにおいて新たな出店を支援するなど神戸キャンペーンを展開
 - 商店街・小売市場お買い物券事業 3億円(経済観光局)
 - ・プレミアム付き商品券発行による商店街等の消費喚起(県市協調)
 - 県の休業要請へ応じた事業者の経営継続支援の拡充 4億5,700万円(経済観光局)
 - ・大型連休期間(4/29~5/6)における対象業種の追加(宿泊施設等)及び休業要請期間延長に伴う支援(中小法人30万円、個人15万円)(県市協調)※4月緊急補正の枠拡大
 - 学校給食休止に伴う食材業者等への補償 3億400万円(教育委員会)
 - ・臨時休業期間における給食用食材に係る補償
- (2) 文化・スポーツの新たな取り組み支援**
- こうべ文化芸術・スポーツ活動応援事業1億6,400万円(文化スポーツ局)
 - ・アーティストやクラブ等の新たな取り組みに係る経費を補助(上限10万円/人、上限75万円/施設)
 - ・芸術文化公演等を実施する場合の施設使用料を補助(上限50万円/日・施設、補助率1/2)(県市協調)
 - ・神戸マラソン延期に伴うランニングイベント事業の実施
 - 神出山田自転車道における3,000万円(建設局)シェアサイクル事業
 - ・貸し出し拠点3か所を設置し有料でシェアサイクルを実施



財源内訳 (単位: 百万円)

事業費	左の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他特定財源	一般財源
一般会計	10,216	6,790	1,283	-	200
特別会計	1,014	3,871	3,437	-	-
	11,230	10,661	4,720	-	△6,094

※国庫支出金106億6,100万円は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金33億3,400万円を含む
※一般財源所要額19億4,300万円は、財政調整基金19億4,300万円を活用

緊急補正予算

- 補正予算の専決処分**
- (本来、議会の承認を経なければならない事柄について、市長が地方自治法に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。)
- 神戸市が独自に設けた中小企業向け補助制度に4倍を超える応募等があり、市内の中小企業のニーズに応えるため二つの制度の事業費について、市長の専決処分です速やかな執行を求めて自民・公明、こうべ市民連合の3会派で、7月6日に緊急要望を市長に提出しました。神戸市は、7月7日行財政局長で、国の地方創生臨時交付金59億円を充て、補正予算の専決処分を行いました。
- 神戸市内企業チャレンジ支援補助金: 補正予算51億4,000万円**
市内中小企業等の新たな取り組みへの挑戦を支援(上限100万円、補助率3/4)神戸市独自制度で、15億円の補正予算を組んだが6月末の締切りまでに約8500件総額66億円の申請がありました。
 - 中小法人等の店舗家賃負担軽減補助金: 補正予算7億6,000万円**
中小企業等の店舗の家賃を減額(1/2以上)した不動産オーナーに対して軽減額の8割(上限200万円)を支援。10億円の予算に対し、約3800件約18億円の申請がありました。
- ※上記の補助金の申込み受付は6月末で終了しました。

特別定額給付金

- 給付を受けるためには必ず申請が必要です。
- 7月5日現在、神戸市では特別定額給付金の申請率は95.5%、給付率は97.8%です。郵送・オンライン申請ともに、**締め切りは8月18日(火)**まで、申請書がまだ届いていない人は下記[問]へ。
- 受け付け状況が確認できます。
- 申請者番号を入力して受け付け状況や振込日(目安)などを確認できるサイトを開設しています。音声通話による自動案内サービス(☎050-3138-6270)もご利用ください。
- [問] 市特別定額給付金コールセンター**
☎771-7493 9:00~17:30(土日祝含む)
※聴覚障害のある人からの問い合わせはNPO法人 神戸ろうあ協会(☎371-3052)で受け付け
✉npn.kobedeaf@gmail.com



神戸市 給付金申請 | 検索

こうべ文化芸術活動応援事業

頑張る施設! チャレンジ事業

1施設あたり上限 **75万円**

「with コロナ」時代のいま、文化施設が新たに企画した取り組みに対して、1施設あたり上限75万円を補助金として交付いたします。

応募期間: 令和2年7月8日(水)~8月7日(金)

応募要件等

- ・ライブハウス等が「with コロナ」時代に適応して文化芸術活動を継続していくために企画された取り組み
- ・ライブハウス、ホール、劇場、演習場等の民間施設
- ・事業実施期間 令和2年4月1日(水)~12月31日(木)

問い合わせ
神戸市総合コールセンター
078-333-3330(年中無休 8:00-21:00)

どんなふうに見える?

例えば 感染予防対策 & ライブ配信構築

- ・デジタル板設置、非接触式体温計設置
- ・チャットレス対応等の感染予防対策
- ・撮影機材、動画撮影、配信
- ・広報

例えば 感染予防対策 & 複数店舗のライブ配信

- ・撮影機材、動画撮影、配信
- ・サマルカメラ、モニタ設置
- ・広報

応募要項など、詳しくはホームページをご覧ください
神戸市文化スポーツ局文化交流課
https://www.city.kobe.lg.jp/a36708/kanko/bunka/gejutsu/challenge.html

こうべ文化芸術活動応援事業

頑張るアーティスト! チャレンジ事業

1人あたり上限 **10万円**

「with コロナ」時代のいま、アーティストが新たに企画した取り組みに対して、1人あたり上限10万円(10人以上の団体の場合、上限100万円)を補助金として交付いたします。

第一次応募期間: 令和2年7月8日(水)~8月7日(金)

応募要件等

- ・アーティストが「with コロナ」時代に適応して文化芸術活動を継続していくために企画された取り組み
- ・音楽、演劇、舞踊、美術、伝統芸能等の分野での活動
- ・事業実施期間 令和2年4月1日(水)~12月31日(木)

問い合わせ
神戸市総合コールセンター
078-333-3330(年中無休 8:00-21:00)

どんなふうに見える?

例えば リモートドラマの制作 & 公開

- 2人で20万円を申請
- ・映像制作編集費14万円
- ・事務費6万円(3万円×2人)

例えば 屋外コンサートの開催 & 課金制ライブ配信

- 10人で100万円を申請
- ・広告宣伝費20万円
- ・会場及び機材使用料50万円
- ・制作、配信委託料30万円

応募要項など、詳しくはホームページをご覧ください
(公財)神戸市民文化振興財団
https://www.kobe-bunka.jp/new/shienjigyoku/

OPEN 神戸～市民に開かれた市政～

神戸市会議員 中央区

よこはた 和幸 かずゆき

よこはた和幸事務所

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階

TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

E-mail : info@yokohata.net

2020年夏号
市会報告

編集・発行 こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

新型コロナウイルス感染症の第2波に備える

6月11日から26日まで市会が開催されました。新型コロナウイルス対策の補正予算を中心とした、総額112億円からなる補正予算が成立いたしました。

医療の分野では、院内感染を起こさせないために、市民病院内に臨時病棟の増設、PCR検査体制の充実をします。

経済の分野では、市内中小事業者を守るためにチャレンジ支援など新たな取り組みへの支援などを行います。しかし、融資や給付金だけでは、市内経済はこれからも疲弊が続くと予想されます。国や県とも連携して新たなメニューも視野に入れねばなりません。

保育・教育の分野では、何より子ども達の学びの保障と感染症対策を進めます。



新型コロナウイルス対策・補正予算の概要

医療 26億円



- PCR検査の拡充
ウォークスルー方式のPCR検査センターの設置
濃厚接触者の方々には症状の有無に拘わらず検査する体制の確立
- 中央市民病院に臨時病棟の整備
神戸市民の最後の砦となる市民病院での院内感染を防ぐ
- 感染患者の入院に係る医療費を公費で負担

経済 21億円



- 市内中小企業の支援であるチャレンジ支援金補助
- オンラインストアへの出店支援の販路の確保
- 経営継続支援金の拡充（兵庫県の休業支援）
- オーナーに対する家賃補助
家賃を半減したところに補助

保育・教育 26億円



- 妊婦タクシー補助（1万円）
- 乳幼児健診の感染防止対策
- 児童生徒にノートパソコンを1人1台整備
今年度までに全小中学校
- 学校再開に伴う学びの保障と感染症対策
- 放課後デイサービス、放課後児童クラブの
時間延長に係る補助や利用減免

その他 31億円



- 低所得者のひとり親世帯への給付（17億円）
- 生活困窮者に対する住居確保金の給付（3億円）
- 国民健康保険介護保険料減（10億）
- 市内大学生の支援（1億円）

詳しい補正予算の内容は神戸市のホームページへ <https://www.city.kobe.lg.jp>

新型コロナウイルス感染症における各相談窓口一覧

個人の皆さま

相談	感染の疑いや健康不安になった場合	新型コロナウイルス専用相談窓口	078-322-6250 (24時間対・多言語対応)
	生活が逼迫した、家賃が払えない、収入がなくなったなど相談したい場合	くらし相談窓口（中央区役所） ※くらしの相談窓口と教えてください。	平日 078-232-4411
	育児や子育てに不安を感じた場合	子育て相談ダイヤル ※神戸市児童家庭センターから委託 ※土日を含む24時間対応	真正塾 078-341-6493 しらゆり 078-594-7785 おるおるステーション 078-371-4351
	風評被害を受けた場合	新型コロナウイルスに関するに関して、偏見、差別、いじめ、SNS等での差別的な被害があった場合。	神戸市人権推進課 平日 078-322-5234
貸付・給付などの支援	市税の猶予をしたい場合	原則1年間猶予し、期間中は延滞金がかからない。	神戸市税務部収税課 平日 078-647-9475
	国民健康保険・介護保険・国民年金保険後期高齢者医療保険を猶予したい場合	保険料を納めることが困難と認められる場合で、一定の要件に該当する場合は、保険料の減免。	中央区役所 平日 078-232-4411
	生活福祉資金貸付（新型コロナウイルス特例貸付）	手元に緊急の現金が必要な時 収入減などに対する10万円～20万円個人貸付	社会福祉協議会 全日 078-262-1626
	住むところがなくなった場合	退去を余儀なくされた場合は市営住宅に入居 市内100戸、家賃は2万円～4万円程度	神戸市住宅管理課 平日 078-595-6541
	子育て世帯臨時特別給付金	児童1人につき1万円	神戸市総合コールセンター 078-333-3330
	ひとり親の就労支援	就労準備金（5万円）	

事業主の皆さま

支援	持続化給付金	法人最大200万円 個人事業主最大100万円	中小企業金融給付金相談窓口 全日 0570-783183
	雇用調整助成金（従業員の休業手当に対する助成）	1日8,330円まで (助成率は規模や雇用状況によって変動)	ハローワーク助成金デスク 平日 078-221-5440
	家賃支援給付金	法人最大600万円 個人事業主最大300万円	家賃支援給付金コールセンター 平日 0120-653-930
相談	経営全般に関して困ったとき（事業・財務・資金繰りなど）	神戸市経済政策課 平 078-360-3205 神戸商工会議所中央支部 平 078-367-3838 ひょうご・神戸経営相談センター 平 078-977-9079	商工中金 全 0120-542-711 日本政策金融公庫 平 0120-154-505

今期の役員・所属委員会が決定しました

福祉環境委員会・委員	福祉局・健康局・環境局が所管となり、新型コロナウイルス対策のメインとなる委員会です。医療介護の充実や市民の健康向上、ごみの資源化など提案します。
外郭団体に関する特別委員会・理事	神戸市が25%の出資している外郭団体の審査です。出資は税金ですので厳しい目をもって対応します。
市会運営委員会・副委員長	議会の要となる委員会です。市会を円滑に運営してまいります。
会派役員	幹事長



「市民の皆さまに寄り添う市政を目指して」2期目2年目がスタート

こうべ市民連合議員団の政調会長

市議会で2期目2年目が始まり、今年度は会派の政調会長として**政務調査や、政策立案、関係団体との連絡調整の任に就くこと**となりました。

神戸市議会の、政務活動費の用途基準を厳格に遵守した上で、**政策立案や条例提案のための調査研究**に努めてまいります。



▶ 会派で北区长尾町「ふれあいの里おくっちょ」を視察

建設防災委員会の委員長を拝命

令和2年度の所属は**建設防災委員会**です。この委員会は、危機管理室、建設局、消防局、水道局の事業を1年間チェックしていきます。市民のみなさまが安心して暮らすための重要な室局ですので、委員会の質疑や調査を通して**神戸市政がさらに前進**するように、全力で取り組んでまいります。

また、**大都市行財政制度に関する特別委員会**にも所属し、大都市である神戸市の財政実態に即応する財源の拡充について国へ要望していきます。



▶ 建設防災委員会で円滑な議事進行をめざします



神戸市水道局
キャラクター



お困りの市民や事業者の方へ1日も早く支援が届くように取り組んでいます。

新型コロナウイルス対策について～神戸市へ要望!!

私たちこうべ市民連合議員団は、コロナ禍の間、市民のみなさまのお声を聞かせていただきながら、久元市長に要望をしてきました。国からの補正予算審議については、**お困りの市民や事業者の方に素早く行き渡るよう求め、神戸経済が停滞しないように可決成立**させました。

今後は第2波に備えた医療体制の強化、PCR検査体制の強化、学校へのICT化の推進など対策の強化を求めています。

新型コロナウイルス感染症患者（重症）受け入れ臨時病棟が整備されます

新型コロナウイルス感染症の第2波に備えて、神戸市立医療センター中央市民病院において、新型コロナウイルス感染症患者とその他の患者の動線や診療病棟を分離（ゾーニング）し、新型コロナウイルス感染症患者への治療と、高度・専門医療の提供を両立できるよう、**新型コロナウイルス感染症の重症患者の治療をサポートする臨時病棟が整備**されます。



要望1 災害時の避難所についてマスク・消毒液等の備蓄を確保しウイルス対策を講じること

要望2 スパコン富岳や医療産業クラスターを活用しコロナ収束に向けた研究に努めること

要望3 神戸市民病院機構で働く看護師や看護補助者をはじめとした医療従事者を増強すること

要望4 生活が激変した市民の相談対応には、職員の体制強化で区役所サービスを向上させること

要望5 学校再開時における児童生徒のケアを行う退職教職員等の人材を活用すること

要望6 夏季の熱中症対策として特別教室や給食調理室へエアコンを早急に設置すること

要望7 児童生徒1人1台のタブレット端末の貸与等ICT学習環境の整備を早急にすすめること

Topics 北区トピックス

市営地下鉄北神線となりました! 6/1から谷上～三宮間が料金¥280

北神急行が市営化されたことで料金が半額近くになりました。土日祝には親子で乗車すると同行する大人1人につき小学生



以下2人まで無料となるエコファミリー制度も適用となります。たくさんの方にご利用いただき、これからも北区の交通アクセス向上に取り組めます。

山田町つくはら湖畔に BE KOBEモニュメントが完成

神出山田自転車道が整備され、今秋にはシェアサイクルの試験導入の予定です。今後は、つくはら湖周辺ヘイトイレの設置等、環境整備を進めます。



北区に休日急病診療所が建設されます。

有馬街道“皆森”交差点近くに今年8月着工、1月末頃完成、令和3年3月供用開始予定です。休日や夜間の急病時に北区内で診療が可能となることから、北区での医療の充実が実現します!





本会議にて一般質問（2020年6月26日）

1. 生活困窮者への自立支援について
2. 神戸農業の活性化と移住促進について
3. 安心して暮らせる学校づくりについて

新型コロナウイルスの影響を受けている市民のみなさまの立場で安心して暮らせるように、ポストコロナの時代も見すえた政策を提案しました



▶ 本会議で市長に質問しました

1. 生活困窮者への自立支援について

Q1 新型コロナウイルスの影響により、市民の生活が苦しくなり生活困窮支援の必要性は高まっている。今後も市民相談に十分対応できるよう、区役所相談窓口の体制強化をすべきと考えるがどうか？

寺崎副市長 各区の社会福祉協議会に地域福祉ネットワークを複数配置（全市で20名）し、くらし支援窓口と連携して相談にのっています。またケースワーカーも業務改善により、本来業務の保護を必要とする方へのケア、指導、支援に集中できるよう取り組んでいます。今回のコロナ禍の影響で、相談件数も大きく増加しているので、面接員の体制の見直しも含め、対応していきます。

Q2 北区にある「小さいのちのドア」は行き場のない妊婦の方をケアし、自立につなげている。今後、支援も含めて連携して取り組んではどうか？

寺崎副市長 令和2年度から、国においても悩みや不安を抱えた若年妊婦等支援事業が創設されました。本市も相談業務だけではなく、妊娠中から出産、産後まで支援するための連絡協議会を開催します。秋以降に民間事業者に委託し、支援事業を開始します。



▶ 「小さいのちのドア」永原郁子院長からお話をお聞きしました

伊藤の要望

暮らしに行き詰まった時に、区役所を頼りに相談に来られる方に丁寧な相談をしていただけるよう、市民と行政がしっかりつながるよう取り組んでください。

2. 神戸農業の活性化と移住促進について

Q 新型コロナウイルスの影響もあり、北区や西区の農村地域へ移住希望のニーズが高まっている。オンラインでの情報発信や、若者や女性の就農プロジェクトを展開してはどうか？

久元市長 神戸の農村・里山地域は、自然環境と文化遺産が一体的に保存されており、非常に大きな魅力を持っています。さらに磨きをかければ、多くの人々に移住の機会や訪問の機会を提供できると考えます。オンラインでの移住就農相談会を実施するなど、ICTもさらに活用し新規就農者向けの補助事業や資金貸付制度、農地の売買や賃借情報など発信していきます。東京にいる神戸市のエバンジェリストのお二人にも、神戸の農村地域の魅力発信に取り組んでいただきます。



▶ 北区に広がる農村地域の活性化を！

伊藤の要望

淡河町で9月から地域おこし協力隊による農業スクールが開校するなど、今後の農業振興の取り組みに期待します。農村地域の学校を小・中一貫校として特色ある教育をするなど、子育て世帯が移住先として選択するような取り組みや情報発信もお願いします。

3. 安心して過ごせる学校づくりについて

Q 学校が休業の間はもとより再開後も、子どもたちにはストレスも多く、教員は消毒作業など多大な負担が生じている。新しい生活様式の中で、児童生徒も教職員も、誰もが安心して過ごせる学校づくりに、どのように取り組んでいくのか？



教育長 生活アンケートの結果を踏まえて、児童・生徒の様子を丁寧に観察し、積極的に声かけを行い、必要に応じて個別面談を実施していきます。登校出来ない児童・生徒にはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも情報共有し、積極的に対応していきます。学校再開後は、今年度から配置した地区統括官が、精力的に学校を巡回し、学校現場と教育委員会をつなぐ役割を果たしています。また、学校法務専門官の法的な観点からの助言などは非常に好評であり、有効に機能しています。今後も監理室により学校現場が抱える課題を丁寧に聞き取り、校長が学校をしっかりとマネジメントできるように支援しながら、学校の組織風土改革と、神戸の教育の再生に取り組んでいきます。

伊藤の要望

昨年は教員間ハラスメント事案がありましたが、監理室の機能を最大限活かしながらも、教育現場の意見を丁寧に把握するボトムアップ型の改革を進めてください。

